

ワンワールドフェスティバル

今年も大盛況!

2月2日、3日の2日間、大阪国際交流センターでワンワールドフェスティバルが開催されました。毎年行われていて今年で第20回目だそうです。市岡日本語教室は民族料理屋台を出展し、韓国料理のホットク、チヂミ、トッポギ、ゆず茶や台湾料理の酸辣湯を販売しました。

私自身、ワンワールドフェスティバルへの参加は初めてで1日目は何をすれば良いか戸惑いながら少しの時間ですがお手伝いをしました。でもボランティアの皆さんに色々教えてもらい店頭での呼び込みやチヂミを作ったり、とすごく楽しみながら参加する事ができました。また、学習者さんや高校生の皆さんも一緒にボランティアをしてくれました。学習者さんは日本人かな?と思うくらい上手な日本語で呼び込みをされていて驚きました。おかげ様で沢山のお客様が来てくれました!

2日目は昼から参加し、昨日は時間がなくて見れなかった色々なお店や展示を見に行きました。色々な国の料理や飲み物が売っていて普段、目にしない料理が沢山あり、つい食べすぎてしまいました(笑) 展示には多くのボランティア団体が集まっており、どういった活動をしているかなどをまとめたレポートを貼って宣伝している方もいました。日曜日という事で昨日に比べて人が多く来場されていまし



た。お昼になると沢山ののお客様が並んで、すごく盛況でした。今年から追加した新メニューのホットクはお昼時を過ぎると売り切れになるくらい人気でした。

ワンワールドフェスティバルは毎年行われているので是非皆さんも来年参加してみてください♪ すごく良い経験になります! 2日間ボランティアの皆さん、学習者さん、高校生の皆さんお疲れ様でした! (1班. 海谷さん)

ある一人の、日本人が知らない日本人のこと

今年になってから4班には台湾の学習者が急増しました。日本に来て、まだ4日なのに来てくれた学習者もいます。台湾で少し日本語を勉強したそうですが、驚くべき理解力、スルドイ質問にこちらがタジタジになります。彼は台湾で大学院を出ているそうですが、将来の夢など聞いてみたいと思います。

ところで、最近読んだ新聞のコラムに、「多くの日本人が知らないが、多くの台湾人が知っている」という、ある日本人のことが載っていました。一昨年の大震災の時、台湾からの義援金は200億円、一人当たりでアメリカより多い額です。9割が一般の方からの寄付でした。このことは、その日本人の台湾に対する功績で、台湾の人が日本に対して好印象を持っているのも一因なのではないか、という趣旨でした。

その日本人とは、「台湾農業の父」と呼ばれた八田與一(はったよいち・1886~1942)。現在の台南市に、当時東洋一といわれた烏山頭(日本語読みで、うさんとう)ダ

ムを10年の歳月を要して建設した技術者です。技術者としてよりも、むしろ行動力と人柄で台湾の農民に慕われました。例えば、・土木作業員の労働環境を適切なものにするため尽力した。・危険な現場にも進んで足を踏み入れた。・事故の慰霊事業では、日本人も台湾人も分け隔てなく行った。その他にも感動するエピソードがたくさんあります。

與一は、1942年56歳で戦死し、日本の敗戦で日本人が台湾を去らねばならなくなったとき、彼の妻、外代樹(とよき)は45年の9月1日の深夜、夫が心血を注いだ烏山頭ダムの放水口に身を投げ、夫の後を追いました。

戦後、地元の人たちによって作られた作業着姿で考え事をしている與一の銅像とお墓の前で、毎年5月8日の與一の命日には、慰霊祭が行われ、馬英九総統も数回足を運んでいます。昨年4月には、八田與一記念公園にて、台湾の義援金に感謝を込めて、台湾桜に日本の河津桜を接ぎ木し

た苗木を植える植樹祭も催され、日本人も多数の人が列席したそうです。

最後に僕が一番感動したエピソードを紹介します。関東大震災の影響で予算が大幅に削られ、従業員を退職させる必要に迫られたとき、総督府の「優秀な者を退職させると工事に支障が出るので、退職させないでほしい」という言葉に対して、「大きな工事では優秀な少数の者よりも、平凡な多数の者が仕事を為す。優秀な者は、再就職が簡単にできるが、そうでない者は失業してしまい生活できなくなる」と言って優秀な者から解雇して行った。そして、涙を流しながら退職金を渡した。(4班 前田さん)

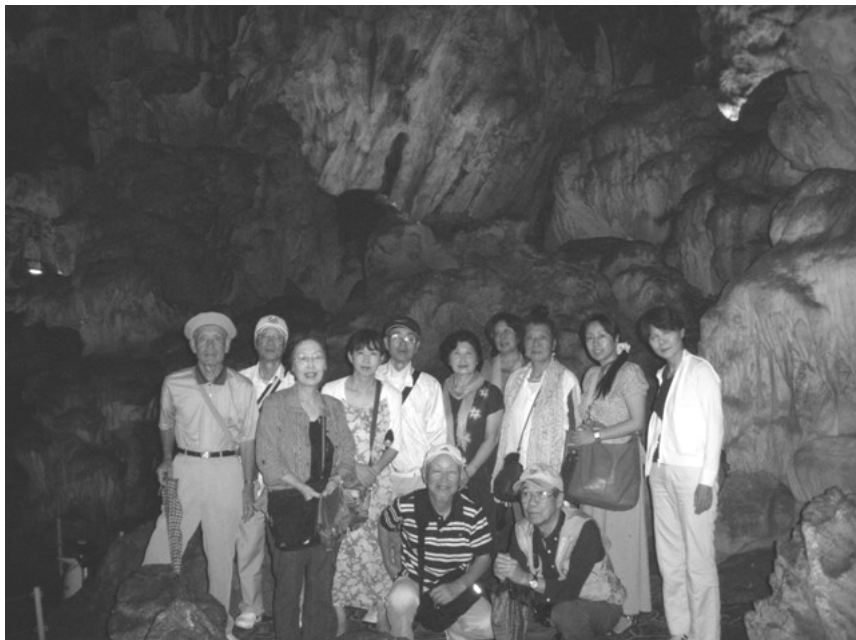


写真は烏山頭ダムにある八田與一の像。八田與一は現在台湾で撮影中の映画「KANO」にも登場します。「KANO」は日本統治時代に甲子園で準優勝した嘉義農林(カノウ)の活躍を描いた映画。来年公開の予定です。ちなみに八田與一を演じるのは大沢たかおさん。(補足・札葉)

ボランティアが行くベトナム旅行記

昨年10月20日、市岡日本語教室のボランティア13名でハノイ、フエ、ホーチミンの3都市見学と教室修了者との再会を夢見て、ベトナムへ旅立った。

ハノイ到着後日本の夏のような暑さで上着を脱いだ。世界遺産のタロン城址公園ではこの日『女性の日』で男性から女性へ花束等のプレゼントをしていた。アオザイを着た若くてスリムな女性はプレゼントを受け取り笑顔が美しかった。



ハロン湾を遊覧船でゆっくり島の間を巡り、洞窟の中の鍾乳洞の見事な光景に目を見張った。さすがに世界遺産である。古都フエの王宮は高い壁に囲まれて、中心の紫禁城の跡は往時を偲ばせていた。

ホーチミンは経済の中心地だけに、車、バイクが途切れることなく混雑していた。北西の広いゴム園を通り過ぎたクチ村で、ベトナム戦争民族主義開放勢力の実隊が使用した地下要塞を見学。250kmも掘られた暗くて狭い地下トンネルを、20mだけ中腰での通り抜けを体験させてもらった。当時日本では東京オリンピック、大阪万博など高度経済成長期に浮かれていた頃、ベトナム国民はタロイモを主食(試食あり)でアメリカと命賭けで戦っていたんだなーと改めて思い知らされた。フランス様式の中央郵便局。サイゴン大聖堂見学後、全員一台ずつシクロ(三輪タクシー)に乗り市内見学した。旧市街を曲がりくねった道路を見下すように、真新しく輝くオフィスビルが聳え、インターネットカフェ、ショッピングモールを眺め、サッカー場やホンダ販売店を通り過ぎる時、日に焼けた60代の運転手が「ナカータ」「ホン～ダ」と大きな声で叫び指差して日本人にサービスしてくれた。

この日の夜、レストランで昨年9月に帰国した研修生のキエン君と感動の再会を果たすことができた。ベトナムの映像を日本に送る仕事をしていると目を輝かせて元気で頑張っていた。今後、多数の日本企業がベトナム進出を計画しており、人口8800万人の65%は35歳以下であり、更なる躍進は間違いないだろう。キエン君はじめ多くの研修生が、日本とベトナムの架け橋になってくれることを期待している。それを確認するため、数年後、是非再訪問したい。毎食事は全員でテーブルを囲み、談笑で楽しい思い出に残る3泊5日の旅行であった。(2班 田渕守雄さん)

日本滞在を終えて

日本に来てもう4ヶ月ぐらいです。もうすぐ台湾に戻ります。期間は短い期間でしたが、勉強会の皆さんと一緒に日本語を勉強して、嬉しかったです。勉強会があれば、友達もできるし、日本語も上手にできるし、ここに来て本当によかったです。一番印象に残っているのは初めてもちつき大会に参加して、みんなでもちを作った事です。この機会にかけて、日本の伝統に触れて、日本の文化をすきになりました。阿部さんをさそって、よかったです。(原文ママ)(2班 林枝慧さん 台湾)

これからの予定

3月22日、29日 ボランティア研修会(学習はお休み)
4月5日(金) 新学期開始。以降、毎週金曜日の7時から日本語教室。(港区民センター) ただし、5月3日(祝日)はお休み。

広報担当者募集!!

ホームページ担当者、メール配信担当者、新聞編集者をそれぞれ1名以上募集しています。ぜひ、おたすけを。

市岡日本語教室 行事予定表

2013年1月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	15
20	21	22	23	24	25	22
27	28	29	30	31		

4日 おやすみ

2013年2月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

2013年3月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

1日 市民学習センター

15日 オープンクラス(1階ホール)

22日、29日 ボランティア研修会

がくしゅうしゃぼしゅうちゅう 学習者募集中！

にほんご 日本語をべんきょうしたいがいこくじん のみなさん、いちおか 市岡にほんご
きょうしつは、せいと 生徒をぼしゅうしています。まいしゅうきん 金よう
び、よる 7時から 8時30分まで。お金はいりません。よやくも
いりません。きたいときに、いつでもきてください。

でんわ 080-3846-2581

e-mail: ichioka_nihongo_kyoshitsu@softbank.ne.jp

ホームページを見てください！

市岡日本語教室では、外部への宣伝や、会員相互の連絡、親交のためにホームページを開設しています。ぜひともご覧になってください。

<http://ichioka-nihongo.org/>

ホームページそのものの更新はほとんど行っていませんが、毎週学級日誌を更新しています。日ごろの活動の様子がわかります。

また、ブログでは最新の情報を提供するようにしています。

http://geocities.yahoo.co.jp/gl/ichioka_nihongo

お休みや、会場の変更等は携帯用ホームページで確認してください。

<http://ip.tosp.co.jp/i.asp?I=ichiokanihongo>